

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

今日は、6月最終日、一年の折り返し地点のハーフタイムデー。半年を振り返って皆さんはどんな時を過ごしたのでしょうか。いよいよ

よ明日から真夏到来となる7月、暑さに負けない日々を送りたいものです。

6月下旬、松本信用金庫白馬支店の取引先がつくる「信白会」が企画した研修会「徳川家康ゆかりの地と蒲郡温泉」に参加する。NHK大河ドラマ「どうする家康」が放送されており興味深い研修旅行だった。しかし6月2日に台風2号に伴って発生した「線状降水帯」により愛知県内は局地的な豪雨による災害が多発。また数多くの水害車両の撤去作業が行われており、改めて「線状降水帯」によ

る自然現象の厳しさを感じてしまう。訪れた松平家・徳川将軍家菩提寺「大樹寺」

30軒まで減少した檀家は今100軒に回復したが、「年間の葬儀件数は少なく寺を維持していくには」と寺のガ

積極的に社会とのつながりを求めよう

イドは寺の現状を話す。由緒ある寺でも人口減社会での維持は大変だと伝わってくる。松平八代と徳川歴代將軍の14代までの位牌が安置され、家康の遺命の1条に「位牌は三河大樹寺に祀るべきこ

と」と。家康が人生観の確立と一代の危機を救った寺の歴史を垣間見る事ができた。

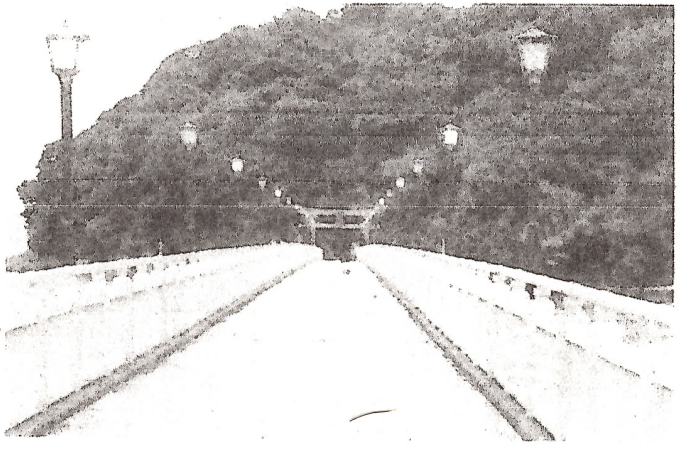
「どうする家康・ドラマ館」はメイキング映像の上映・ストーリーや人物紹介パネルの展示で大河ドラマの

世界観を体験できると大混雑。松本潤さんなど若手俳優や多彩な出演者の影響が入館者も若者が多い。大河ドラマの放送は愛知県にも地域経済の好影響が出ている事を実感する。宿泊したホテルではコ

ロナ感染症の影響を体験、経済回復の難しさなどの現状を知った。

朝の散歩中に地元の方から、「近隣の豊田市や岡崎市に若い人材が就職してしまい、蒲郡市は高齢化率が高く賃金水準も低く人材確保は大きな課題となっている」と聞かされる。少子高齢化社会での人材確保は、地域間競争が今後も展開するのだろう。

この研修には、松本信用金庫大町支店・白馬支店の中澤統括支店長、白馬支店の原山店長が同行、参加者と積極的に情報交換し信頼



縁結びの橋と呼ばれる竹島橋の街灯の部分点灯には好印象が残る

関係を構築しようとする車内や食時会場など全てを運営。帰路の車中は、ウィズコロナでありつつも、久しぶりの旅行ににぎやかな参加者の笑顔が印象的であった。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)